

分科会評価結果

令和7年度は、ごみステーション数の多い自治会からの申請が集中したため、7月に予算上限額に達し、申請予定であった一部の案件が令和8年度に持ち越しになったことを踏まえ、今後はより多くの自治会に本事業を活用してもらうため、自治会のニーズを把握する中、引き続き必要な支援を行うことを求め、継続とした。